

マイクロマシン/MEMS 分野関連 経済報告 2021 年 1 月号

2021 年 1 月 6 日

(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン/MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 10 月分 (速報) の概要 (内閣府、令和 2 (2020) 年 12 月 7 日発表 より抜粋)

- ① 10 月の CI (速報値・平成 27(2015)年=100) は、
先行指数：93.8、一致指数：89.7、遅行指数：89.9 となった。

先行指数は、前月と比較して 0.5 ポイント上昇し、**5 か月連続の上昇**となった。
3 か月後方移動平均は 2.24 ポイント上昇し、4 か月連続の上昇となった。
7 か月後方移動平均は 1.30 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 4.9 ポイント上昇し、**5 か月連続の上昇**となった。
3 か月後方移動平均は 2.90 ポイント上昇し、4 か月連続の上昇となった。
7 か月後方移動平均は 0.06 ポイント上昇し、24 か月ぶりの上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 1.8 ポイント下降し、**2 か月ぶりの下降**となった。
3 か月後方移動平均は 0.83 ポイント下降し、14 か月連続の下降となった。
7 か月後方移動平均は 1.46 ポイント下降し、15 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2 (2020) 年 10 月分 (速報) の概要」pdf へ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202010psummary.pdf>

- 尚、12 月 23 日付で「令和 2(2020)年 10 月分速報からの改訂状況」が公表されています。
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/revision.pdf>

- ・(ご参考) 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（12月）（内閣府、令和2年12月22日（火）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

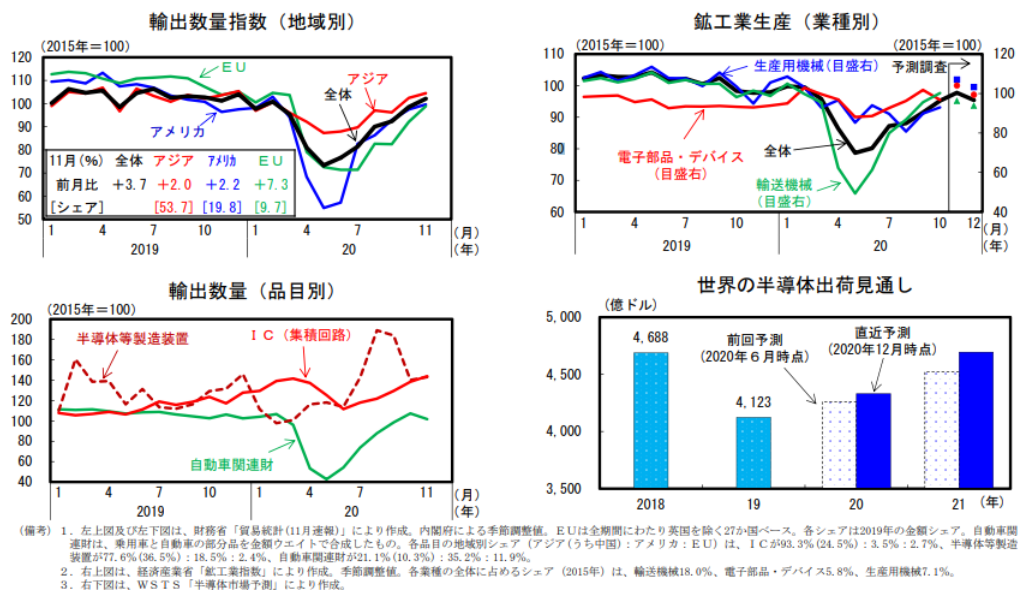
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月の指標(1) 輸出・生産

- 輸出は、増加している。品目別にみると、自動車関連財の持ち直しが続いているほか、I C等の情報関連財も堅調に増加。
- 生産も、持ち直しが続く。自動車やスマートフォンなど幅広い財に使用される半導体の出荷は、5G対応やオンライン通信機器の需要の高まりから、2021年も増加見込み。



詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

12月例経済報告資料 pdfへ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2020/12kaigi.pdf>

(ご参考) 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年10月実績：機械受注統計調査報告
 (令和2年12月9日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年9月前月比4.4%減の後、10月は同9.7%増の2兆3,003億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比5.7%増の9,788億円、官公需は同22.7%減の2,483億円、外需は同20.7%増の9,244億円、代理店は同6.9%増の1,097億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年9月前月比4.4%減の後、10月は同17.1%増の8,425億円となった。このうち、製造業は同11.4%増の3,535億円、非製造業（除く船舶・電力）は同13.8%増の4,840億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年	2020年	4-6月	7-9月	10-12月	2020年	8月	9月	10月
		(令和元年)	(令和2年)				(令和2年)			
		10-12月	1-3月	(実績)	(実績)	(見通し)	7月	(実績)	(実績)	(実績)
		(実績)	(実績)				(実績)			
受注総額		-5.4	3.9	-17.7	7.8	-7.8	7.0	19.8	-4.4	9.7
民需		-4.8	-5.1	-8.4	1.9	-3.2	12.2	-0.5	-0.3	5.7
〃 (除船電)		-1.8	-0.7	-12.9	-0.1	-1.9	6.3	0.2	-4.4	17.1
製造業		-2.8	1.8	-16.6	3.0	-1.9	5.0	-0.6	2.0	11.4
非製造業(除船電)		3.6	-5.1	-9.7	-2.5	-1.2	3.4	-6.9	3.2	13.8
官公需		-10.5	25.5	2.5	-14.6	-5.9	-30.4	28.3	20.0	-22.7
外需		-7.9	8.7	-32.1	28.4	-14.2	13.8	49.6	-16.7	20.7
代理店		-3.1	3.6	-17.0	1.6	2.6	2.3	0.5	2.7	6.9

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年10月実績：機械受注統計調査報告
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2010juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)
 ～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 公表資料より抜粋)

【結果の概要】

① 2020年12月28日発表【2020年11月分】(速報)より

ー 生産は持ち直している ー

- ・12月は生産は横ばい、出荷、在庫、在庫率は低下であった。
- ・製造工業生産予測調査によると、12月は低下、1月は上昇を予測している。
- ・総じてみれば、生産は持ち直している。

2020年11月の鉱工業指数の動向(速報)(経済産業省HPリンク) :

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202011sj.pdf

② 2020年12月14日発表【2020年10月分】(確報)より

・製造工業生産能力指数は、97.3で前月比0.0%の横ばい。

上昇業種： 生産用機械工業同0.4%、電気・情報通信機械工業同0.2%、
 電子部品・デバイス工業同0.3%

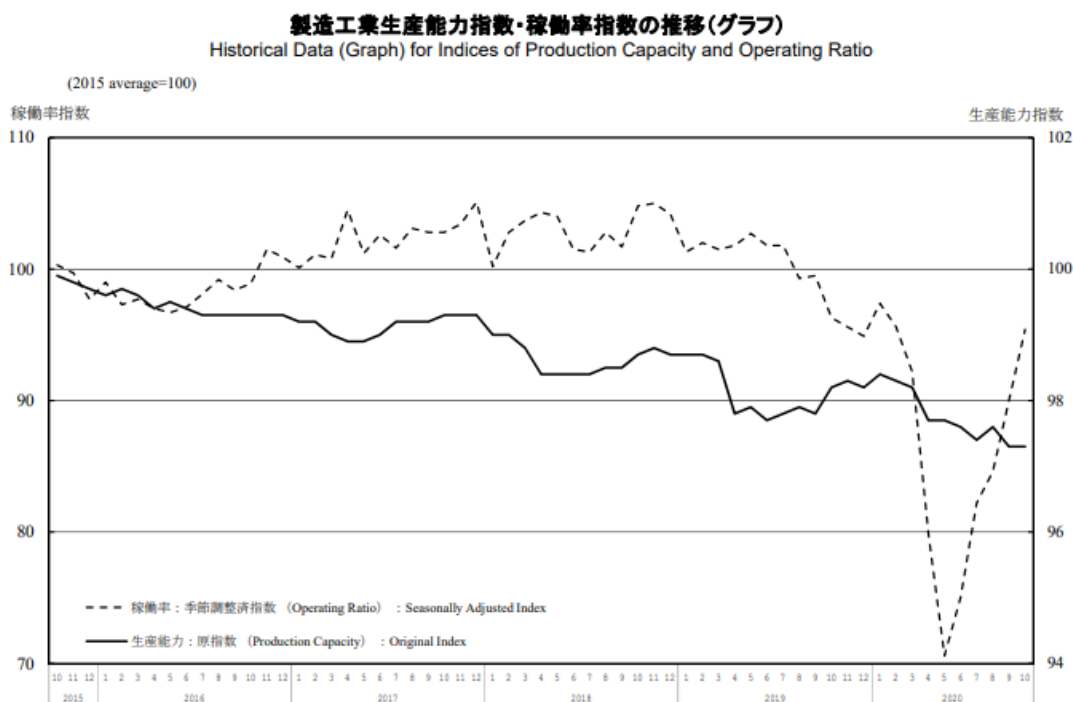
低下業種： その他工業同-0.5%、鉄鋼・非鉄金属工業同-0.3%、
 石油・石炭製品工業同-1.6%等

・製造工業稼働率指数は、95.4で前月比6.0%の上昇。

上昇業種： 輸送機械工業同8.8%、生産用機械工業同10.2%、
 電気・情報通信機械工業同5.6%等すべての業種

2020年10月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向(pdf)資料 :

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202010nj.pdf



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

・ 鉱工業指数関連 結果の概要ページ :

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2020年12月24日発表より抜粋)

【2020年10月動向概況】

- ・ 2020年10月のグローバル出荷額は3,355億円、前年比103.5%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比107.0% 1,450億円）、接続部品（同102.5% 863億円）、変換部品（同101.8% 579億円）、その他の電子部品（同97.4% 461億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比103.0% 742億円）、米州（同101.7% 324億円）、欧州（同97.9% 326億円）、中国（同105.0% 1,272億円）、アジア・その他（同105.0% 695億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2020.12.24 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						2020年度累計		
	8月		9月		10月		4月-10月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	2,952	93	3,489	104	3,355	103	20,570	93	
(日本)	574	83	701	93	742	103	4,426	87	
品目別	受動部品	1,333	102	1,514	109	1,450	107	9,284	100
	コンデンサ	990	106	1,102	112	1,059	111	6,837	103
	抵抗器	100	85	121	99	126	104	781	91
	トランス	26	91	32	105	31	98	202	85
	インダクタ	212	93	253	105	231	94	1,438	93
	その他	4	122	3	123	2	52	24	110
	接続部品	735	88	873	99	863	102	5,108	87
	スイッチ	299	85	354	95	354	101	1,997	76
	コネクタ	432	89	515	102	506	102	3,092	96
	その他	2	74	3	86	2	95	19	70
	変換部品	445	73	579	94	579	101	3,168	80
	音響部品	87	74	98	83	102	78	608	73
	センサ	177	88	217	103	212	102	1,260	89
	アクチュエータ	180	62	263	92	264	114	1,299	77
	その他の電子部品	438	103	521	114	461	97	3,008	101
	電源部品	150	99	166	105	167	109	1,086	100
	高周波部品	287	105	354	119	293	91	1,922	102

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2020年度»

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	8月		9月		10月		4月-10月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	2,952	93	3,489	104	3,355	103	20,570	93
日本	574	83	701	93	742	103	4,426	87
米州	312	93	322	96	324	101	1,855	80
欧州	269	89	327	99	326	97	1,751	77
中国	1,207	104	1,446	116	1,272	105	8,441	108
アジア他	593	86	695	102	695	105	4,119	88

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上